

## 令和4年度第1回千葉市公園等活用事業者選定委員会 議事録

**1 日時：** 令和4年11月10日（木） 14：00～15：28

**2 場所：** 千葉中央コミュニティセンター10階 101会議室

### **3 出席者：**

(1) 委員 朝倉 はるみ委員（委員長）、池邊 このみ委員、鈴木 敦子委員、吉村 類委員

(2) 事務局 藤代都市局長  
石橋公園緑地部長、木津動物公園副園長、動物公園職員2名  
橋本都市総務課長、関谷都市総務課長補佐、都市総務課職員2名

### **4 議題：**

(1) 民間事業者の募集及び選定基準に関する事項について  
「動物公園子どもゾーン（ふれあい動物の里）活性化事業」における事業予定者の募集

### **5 議事概要：**

(1) 民間事業者の募集及び選定基準に関する事項について  
「動物公園子どもゾーン（ふれあい動物の里）活性化事業」における事業予定者の募集選定基準を除く、募集要項については、公開にて委員による審議を行った。意見反映については、委員長と事務局による調整とした。  
選定基準については、非公開にて委員による審議を行った。意見反映については、委員長と事務局による調整とした。

### **6 会議経過**

(1) 募集要項について  
(池邊委員)

動物公園として管理を行えば良いというのではなく、動物園のあり方が世界的にも日本国内でも変化している中で、動物公園を目玉にするという気持ちがあるのか？ 綺麗な飲食施設ができて、広場があって、ただそこに来てもらえば良いというものではない。植栽については、芝生だけでなく四季折々楽しめる花に彩られた空間を産み出して欲しい。

(千葉市)

ただ飲食やイベントをやるような広場であればいいということは決してなく、動物園としては4つの役割があつて、レクリエーションというのが大きいですが、それ以外にも、種の保存だとか、調査研究、教育普及という機能もあり、園全体として取り組んでいる。ふれあい動物園については、比較的小さな子供が、まずは、動物とちょっとふれ合つて、動物に対する思いを持ってもらい、そこから環境など別の問題を考えるきっかけになるような場であればいいと考えている。

そこを必然的にやっていきつつ、園の中の大きな方針にも、従って行っている。ただくような提案があればいいと考えている。

植栽については、花壇をつくって、写真スポットのようなことをしている。

動物の飼育については専門的な部分もあるが、動物にふれ合ってもらい、団体指導の中で活性化に繋がるような取組みをしてもらえる「ふれあい動物の里」の役割等について記載するとともに、園全体に関してはリスタート構想というものに基づいて再生計画を立てて進めているということを記載している。

(池邊委員)

あそこは絶対行かなくちゃいけない、埼玉からでも行かなくちゃいけないというような見せ方、どういう形でふれあいをさせるのかなど、もう少しいろいろできればいいと思う。市民参加で維持管理をやって、保護者が花などを管理する、子供が何かここで動物と遊べるという形だと、大きな意味があるのではないかなと思った。そういう仕組みも市民参加の仕組みを見せてもらえると思う。

(鈴木委員)

前回の公募では何件の応募があつたのか。

また、複数の事業者から提案があると、競争原理も働いて良いと思うが、応募者を増やすための工夫は何かあるか。

(千葉市)

4団体の応募があつて、そこから今の業者が決定されている。

工夫については、なかなか収益が上がっていないということで、その点も含めて市の役割、事業者の役割を整理し、一般市民が利用しているところについては、市が管理をしていく必要があると判断した。

(鈴木委員)

応募登録書類の添付書類の6の部分について、法人税、消費税及び地方消費

税、法人都道府県民税、法人市町村民税とあるが、法人事業税及び特別法人事業税を入れた方が良いのではないか。

(千葉市)

これらについても添付書類に追加する。

<事務局注：会議終了後、鈴木委員から修正案を頂いたので、その案に基づき法人事業税及び特別法人事業税を追加した)>

(吉村委員)

事業終了とともに事業者が設備等を引き上げるのか。仮にそうだとすると、ここにあるものがその後どうなるのか、動物福祉や種の保存の技術といった観点でどのように考えておられるか気になる。

また、事業終了後も含めて動物の扱いをどうするのかという点を含めて評価したいので、考え方を教えて欲しい。

(千葉市)

現在の事業者はこの施設だけでなく、茨城県をはじめ他施設もいくつか運営しており、他施設と入替えをしている。このため、もし事業が終わったとしても、また別の施設に搬出することになると思われる。

(吉村委員)

団体指導を実施する区域の設置管理許可使用料は免除となっているが、団体指導というのは、常時行われているのではなく、このため当該区域は団体指導以外の目的でも使われると思うが、そういう期間も免除になるのか。

(千葉市)

団体指導はこれまでは市の事業として行ってきた。通年ではなく春や秋の遠足シーズンに行っている。それ以外の時には、別の用途で使っても構わないと考えている。事業者の提案内容によって判断するが、それほど収益の上がるようなことはおそらくできないため、当該エリアについては使用料を減免で考えている。

(朝倉委員)

委託期間が10年間ということだが、10年を超えて事業することも想定して、事業期間の延長も視野に入れて提案するように、とあるのは必須なのか。

10年を超えて何としても市として行って欲しいので、10年を超えて携わることを提案して欲しいということなのか。

(千葉市)

10年以上先も見据えた事業展開のイメージであり、あまり夢のようなことを語られても仕方がないが、市もイメージを持って、事業者と一緒にやっていくのが非常に楽しみであり、将来、一緒にやっていきたい事業者になると考えている。

(池邊委員)

10年で収支を出すことは難しい場合もあり、10年やってみて良かったら延長ができるという情報があるのとないのとで事業者としては大分違うのではないかと思う。「ふれあい動物の里」は、他の動物の園舎とも何か連携しているのか。

(千葉市)

この子どもゾーンの役割としては、やはりビジターセンターというのを最初に作ろうということで、一番入場口に近い西口という場所の脇にあるので、まずはそこでお出迎えをしつつ、情報を提供しつつ、動物公園でやっていることの教育普及の拠点となるような場所にしていこうという考えがあり、このゾーンがその教育のきっかけになるものと考えている。また、台地上にも、動物科学館という教育の拠点となる場がある。

(朝倉委員)

市の施設なので、市民の方には千葉市に住み続けたいと思ってもらえるような施設に、より良いまちづくりをしていくということが定住人口につながると思っている。

(2) 選定基準について

(吉村委員)

ユニバーサルデザインに関する審査項目がないように思うが、理由があるのか。

(千葉市)

既存の施設を管理していくというところであって、あえてユニバーサルデザインに関することを記載していない。ただ、提案内容からユニバーサルデザインについても盛り込まれていれば評価するという考えであった。

(吉村委員)

質問ではなく意見だが、ユニバーサルデザインという文言は入れた方が良いと考える。動物福祉は大切であるとして、同時に人間の福祉も大切である。

(池邊委員)

ただこれまでのように維持管理をするのではなく、新しいものを求める管理のあり方が求められていると思う。管理することがメインというのは違うと思う。市が理想を持って他の市にはない素敵なものを作ろうという情熱を持って夢を見ないと、事業者も付いて来ない。審査基準の中で、配点を高くする部分を作ることも可能になると思う。

(千葉市)

管理すれば良いとは考えていない。本来、新しい施設を整備することを求めているのではなく、管理、企画、運営をしていただき、千葉市動物公園における独自の提案をしてもらうのが今回の主旨である。

(池邊委員)

市にとって思い入れのある項目の配点を高くする、ということも検討してはどうか。

市の思い入れのある項目の配点が高くというようなちょっとメリハリがあっ  
ていいのかなというふうに、もし可能であればその市のビジョンをより強く反  
映するような項目の点数を少し高くしても良いかと思った。

質問ではなく意見になってしまうが、もう一度検討してもらえればと思う。

また、集客や賑わいの創出だけではなく、自然と生命の大切さといったもの  
について新しい発見の驚きと感動との出会いのある、今あるものに少しテコ入  
れすれば驚きと感動との出会いが起るような提案があれば。すごく難しいと  
は思うが、それがあるとないのでは、通常の乗馬プラスレクリエーションだ  
けのゾーンになってしまうので、それに加えて動物とのふれあいを含めて、広  
場の設えも含めて何かいいものができるのではないかなと思う。基本方針にせ  
っかく新しい発見と驚きと感動との出会いということが書かれているので、そ  
ういうものが入っている提案に関しては、高得点にしても良いのではないかと  
思う。

(吉村委員)

市が重視している要素の項目に配慮をしてメリハリを付けるということに大  
賛成である。そこが、もう少し目に見える書きの方が良いと思う。

一見してみると、ちょっと集客とか賑わいの話が前面に出すぎている気がし

て、そのあたりの何を重視しているのかというのは、よくわからない。市が重視していることなどを審査内容などにもう少し散りばめるなど、見える基準のほうが良い。

ユニバーサルデザインとの関係については、施設管理についてもそうだが、市の考えとしては、市民のあらゆる方に楽しんでいただける企画に高得点を付けたいということだと思うので、企画内容にもユニバーサルデザインという言葉を使うかどうかはともかく、市の考え方をもう少し明らかにしてもらった方が、我々が採点する時にも、そこをきちんと意識して採点しやすいと思うので、検討していただきたい。

(朝倉委員)

審査項目によって配点にメリハリを付けることに賛成である。